

心の通った温かい街づくりの推進
～みんなが愛せる足立区をクリエイト～

足立区議会議員



しかはま昭

勇気と情熱そして実行

令和4年第2回定例会本会議にて代表質問！

足立区議会自由民主党を代表して本会議初日の6月20日に代表質問をしました。足立区をより安心して暮らせる安全な街にするため、日頃皆様から頂きました「お声」と「自分の思い・考え」を執行機関に訴えました。



1) 財政運営について

コロナ禍における原油価格・物価高騰に直面する生活者や事業者の負担を軽減するため国の地方創生臨時交付金を活用し、区民生活や区内事業者の支援を早急を実施すべきだがどうか？併せて、これまで積み立ててきた基金を積極的に活用し、区民生活、区内経済を支えるため迅速に支援すべきだがどうか？

【区長答弁】今定例会に補正予算を提出していますが、学校給食費の食材高騰分の公費負担や公衆浴場の燃料費補助、中小企業融資限度額の引き上げ、キャッシュレス事業のポイント引き上げなど対応してまいります。また、必要がある場合には、議員ご指摘の基金をその財源として活用してまいります。

2) 区制90周年について

区長も区制90周年は節目の年と発言されているが、その意味と位置付けをどう捉えているのか、また90周年記念ロゴに込められて思いは何か改めて伺う。



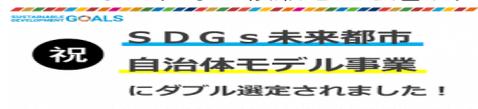
Go For 90th → 100th

【区長答弁】長引くコロナ禍で疲弊した区民生活と区内経済を支え、100周年に向けた新たなスタートの一年で、魅力ある街づくりの契機とします。また、キャッチフレーズに「あ

だちから」を用い、皆様と共に協創に力を入れ未来へ歩んでいくという想いを共有すべく作成しています。

3) SDGs未来都市について

私は昨年的一般質問で、SDGsの達成を加速させるためにも「SDGs未来都市」にエントリーすべきと提案した。この事を区に受け止めていただき、先日見事勝ち取ったと報告を受けた。どのような点に力点を置いたのか？また、なぜ綾瀬地区を選び、これからどのように展開していくのが計画を伺う。



【行政答弁】「貧困の連鎖解消」と「マイナスイメージを街の力で乗り越える」ということに力点を置き、ワークショップ「綾瀬未来都市」や西口高架下の環境改善などを進めていきます。

4) 江北エリアデザインについて

本年1月に、東京女子医科大学足立医療センターがオープンし、区民の悲願が達成された。区民の健康増進に向け大きな貢献を期待するが、歩行経路の改善・案内サインの改善は怎么样了のか？また、(仮称)江北健康づくりセンターの位置づけと具体的にどのような機能を計画しているのか伺う。



【行政答弁】5月に3カ所案内サインを追加で設置しました。また、(仮称)江北健康づくりセンターは第2の足立保健所として、72時間機能を維持させる発電機の設置や最新医療をテーマとした区民向け講演会を実施に向け協議しています。また、災害時健康危機管理支援チームの拠点として、

女子医大とも連携強化してまいります。

5) 竹の塚エリアデザインについて

10年の工事期間が経過し、東武鉄道が高架化された。今後は駅周辺の全体を考える必要がある。

《裏面に続く》

先日URが配布した「第3団地まちづくりニュース」には立て替えを主体とした「ストック再生」の検討を進めていくとされている。この機会に区長が言う「プラスチックなまちづくり」に期待するが考えを伺う。



【行政答弁】 UR都市機構、東武鉄道、及び区で検討してまいります。足立区の北の玄関にふさわしい「人が主役」の斬新なイメージを持った広場空間と賑わいを創出し、イメージの一新に取り組んでまいります。

6) 学校用地の活用について

公有財産の活用にあたっては、ただ民間活用の導入だけでなく、地域の活性化を図る新しい街づくりや足立区文化・読書・スポーツ分野計画等の区の計画の実現に資する整備を進めるべきだ。上沼田小学校跡地は、上沼田東公園と一体的に活用すべきで、単なるスポーツ施設ではなく、効果的な「複合施設」を検討すべきだが、区の見解を伺う。



【行政答弁】 上沼田小学校跡地及び放射11号線側の創出用地の活用につきましては、「足立区文化・読書・スポーツ分野計画」の実現に寄与するような複合施設の可能性を念頭に置きつつ、地域の皆様や議会のお声を伺いながら、具体的な検討を進めてまいります。

例) テラスやカフェを併設した「ゆいの杜」

- * 北鹿浜小学校跡地…文教施設の誘致に向け、再度、様々な学校関係事業者に対してヒアリングを行います。
- * 旧入谷南小学校跡地…災害時の対策本部の支援施設として必要な整備内容と必要面積を再考し実現します。

7) 安全安心ステーションについて

昨年11月、六町駅前に足立区初の「ろくまる」がオープンし、警察官OBを採用するなど地域の安全安心に大きく貢献し地域の評判も良い。区内においては交番が偏在しているように思われる。特に日暮里・舎人ライナー以西に於いては人口も増加し、東京女子医大病院の来訪者が増え、交番機能を補完するためにも、第2・第3の安全安心ステーションを設置するべきと思うが年間維持費も含め伺う。特に江北地域は積極的に設置すべきだが区の見解を伺う。



【行政答弁】 年間維持管理費用は約3,400万円を見込んで予算付けしています。また、「防犯相談室」や加平小学校児童による職業体験など地域一体となった防犯活動に取り組んでいます。次に、安全安心ステーションの新たな設置は考えておりませんが、大きな変化の時期を迎えている江北地域につきましては、犯罪発生状況や地域防犯活動の機運の動向を注視してまいります。

8) 町会・自治会支援について

加入率が減少し、役員の高齢化や後継者問題などの課題があり、加えてコロナ禍により活動が出来ず組織に大きな影響を及ぼしている。今、町会・自治会の方々がどう考え、何を必要としているのかアンケート調査をするべきだが見解を伺う。また、ICT機器購入やHP作成、SNS講習会、加入促進支援、東京都補助金制度などの説明会を行政主導で開催すべきと思うがどうか？



【行政答弁】 今秋にアンケート調査を実施し、その後も2年毎に実施してまいります。また、説明会については、東京都の補助メニューを活用するなど、町会・自治会に寄り添った説明会を開催してまいります。

この他にも、区内経済の活性化・高齢者福祉の充実・プラスチック資源回収・バス以外の多様な交通手段の検討状況・道徳教育・給食費の値上げについて等質問しました。

<詳細については、足立区議会ホームページをご覧くださいようお願い申し上げます>

昭和31年12月21日生まれ(65歳) 区立旧鹿浜小学校・旧鹿浜中学校・都立江北高校・法政大学経営学部卒
令和元年・2年度 第73代 足立区議会議員

日本防災士会足立区支部顧問・保護司・鹿浜押部町会副会長

東京都青少年健全育成成功労賞表彰・宅地建物取引士・防災士

<現在> 所属 文教委員会委員 エリアデザイン調査特別委員会副委員長

役職 自民党政務調査会長 オウム真理教対策議員連盟事務局長

しかはま昭後援会事務所

〒123-0864 東京都足立区鹿浜6-26-12 TEL/FAX 03-3857-5050

E-mail : sika3350@jcom.zaq.ne.jp URL : <http://a-shikahama.jp> (鹿浜昭 検索)